



No. 9

2018 年 5 月 9 日

東京、茨城、埼玉、静岡エリアの小学校に約 1 万部無償提供

小学校 5 年生向け社会科副教材 「パッケージサラダができるまで」を発行

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：萩芳彰、本社：東京都調布市）は、小学校 5 年生向けの副教材「パッケージサラダができるまで」を制作し、東京、茨城、埼玉、静岡エリアの小学校に、2018 年 6 月上旬より無償で提供します※。部数は約 1 万部です。

※エリア内の小学校に応募をかけ、希望があった学校に提供します

本教材は、小学校 5 年生の社会科授業に「工場見学」や「お店で働く人々の仕事」という単元があり、その中で使用していただきたいという想いで制作しました。パッケージサラダがお店に並ぶまでの流れを、「産地」「工場」「輸送」の工程に沿って写真やイラストでわかりやすく紹介しています。1 つの商品が、たくさんの人の関わりにより出来上がることを伝える教材となっています。



<表紙>



<中身（一部）>



■副教材「パッケージサラダができるまで」構成

1. 野菜をつくる

静岡県のキャベツづくりを例に、農業に携わる人や、野菜づくりの流れについて説明します

2. 野菜を加工する

産地から工場に届いた野菜の加工の流れについて説明します

3. 商品を運ぶ

トラックでの輸送を例に、どのようにして商品がお店に運ばれるかを説明します

4. 野菜についての Q&A

野菜やパッケージサラダについて、パッケージサラダ開発者が答えます

■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、色々な種類の野菜を組み合わせ、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により 1999 年に設立されました。利便性と価格が一定という経済性が支持され、需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア率(金額)^{*1}を誇り、販売店舗数は 15,000 店（2017 年 11 月現在）に及びます。

サラダクラブのパッケージサラダは、国産野菜を中心に使用しています。（自社工場における全体使用量の約 95%^{*2}）春夏秋冬、途切れることのない産地リレーで、年間を通して旬の野菜を調達しています。産地はパッケージの表面に記載しています。

*1：マクロミル QPR（サラダメーカー別 2017 年 1 月-12 月） *2：2017 年度実績

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 商品部 小林・荒金・佐々木

TEL. 03-5384-7690（直通） FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町 2-5-7

<http://www.saladclub.jp> E-mail. info@saladclub.jp

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-662-831